

ついでに 宇都宮

【題字】 宇都宮市長 佐藤栄一 様

CONSTRUCTION
vol. **305**
2016

『2015 入間航空祭 ブルーインパルス』

渡辺建設株式会社 飯塚 剛史 様 写真提供



一般社団法人 宇都宮建設業協会



平成28年 新年挨拶

一般社団法人 宇都宮建設業協会

会長 増 渕 薫

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、当協会が皆様のご支援・ご協力により円滑に運営できますこと心より感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、“異常気象”が常態化する中、全国各地で豪雨や台風等の自然災害が相次ぎました。特に、9月の台風18号に伴う「関東・東北豪雨災害」では、比較的災害が少ない地域とされてきた栃木県や茨城県においても、鬼怒川の堤防決壊をはじめ中小河川の氾濫により、甚大な被害を被ったことは記憶に新しいところがあります。本県にあっては茂木水害、那須水害以来の大きな災害となり、ゲリラ豪雨や大型化する台風の来襲等“災害列島”の中にあることを、あらためて認識させられたところでもあります。

この度の災害では、昼夜を問わず活動された会員の皆様方のご尽力に敬意を表しますとともに、県民や市民の安全・安心な暮らしを確保するためにも、社会資本の整備・保全是極めて重要であり、国土強靱化法に基づく強靱な国土づくりの推進は、一時の猶予もない状況にあると考えているところでもあります。

一方、日本経済が一進一退を続ける中で公共事業費の伸び止まりや民間需要の低迷に加えて、人手不足や資機材の高騰など、建設業界にとって極めて厳しい年でもありました。

バブル崩壊以降、長く景気低迷が続いてきた日

本経済にも明るい兆しが見えつつありますが、その一方で人口減少や超高齢化社会の到来という、かつて経験したことのない大きな局面を迎え、成長力や豊かさを維持していくための生産性の向上、そして地域の活性化が大きな課題となる中で、社会資本整備をはじめ、地域経済や雇用の担い手として、建設業が果たす役割、また寄せられる期待は極めて大きいものがあります。

建設業は、国民にとって不可欠な生活と産業の基盤を提供していく、衰退することが許されない産業であります。こうしたことを肝に銘じながら、技術力・施工力・経営力に優れた企業が生き残り成長するとともに、従事者が働きがいと誇りを感じ、生涯を託し得る“魅力ある産業”へと脱皮していかなければと思うところでもあります。

建設業界を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にありますが、これまでどおり雇用や地域経済を支える基幹産業であるとともに、災害活動をはじめ安全・安心な地域づくりの担い手として、地域に根差した活動に取り組んでまいり所存でありますので、会員各位の更なるご理解とご協力をお願いする次第であります。

結びに、平成28年が皆様にとりまして明るい未来が築けるような年となりますことを祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。



平成28年 新年挨拶



栃木県知事
福田 富一

皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は、数十年に一度という記録的な豪雨となった平成27年9月関東・東北豪雨により、尊い人命が失われたほか、住宅をはじめ、河川・道路等の公共施設、農作物等に多大な被害が発生しました。引き続き一日も早い被災地の復旧に全力で取り組むとともに、今回の災害の教訓を今後の防災・減災対策に生かし、災害に強いとちぎづくりを進めて参ります。

さて、現在、我が国は急速な少子高齢化の進行と人口減少という、かつて経験したことのない大きな課題に直面しており、国と地方が一体となって、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたり地域の活力を維持していくため、中長期的な視点に立ちながら実効性のある取組を進めていくことが急務となっています。

このため、県では、まち・ひと・しごと創生に向け、昨年10月に「とちぎ創生15（いちご）戦略」を策定いたしました。「とちぎに安定したしごとをつくる」、「とちぎで結婚・妊娠・出産、子育ての希望をかなえる」など4つの基本目標を設定し、目標達成に向けた15の戦略により、とちぎの未来創生に果敢にチャレンジして参ります。

また、栃木県重点戦略「新とちぎ元気プラン」に続く、平成28年度から5年間の県政の基本指針となる「とちぎ元気発信プラン（仮称）」の策定を進めております。プランに掲げる本県の目指す将来像「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な“とちぎ”」の実現に向け、「快適実感安全戦略」など5つの重点戦略により、災害に強いとちぎの基盤づくりや産業の振興など、とちぎを元気にする取組を積極的に推進していくこととしております。

結びに、本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。



宇都宮市長
佐藤 栄一

年頭にあたりまして、皆様の御健康と御多幸を心からお祈りし、御挨拶申し上げます。

本年は、市制120周年を迎える節目の年であり、これまで培ってきた伝統や文化などを礎として、本市が一層飛躍するよう、将来のまちづくりの新たな基礎を築いていくための重要な年であると考えております。

具体的には、人口減少社会においても、持続的に発展できるよう、「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成に向けて、総合的な交通ネットワークを構築するため、県央地域における公共交通ネットワークの中心的な役割を担うLRTについて、平成28年度に、JR宇都宮駅東側の工事に着工するとともに、バス路線や地域内交通の充実などに取り組んでまいります。

また、拠点形成の促進に向けて、JR岡本駅周辺地区や上河内・河内地域における自治センターの整備などに取り組んでまいります。

さらに、子ども医療費助成の現物給付の対象の中学3年生までの拡大などによる子育てしやすい環境づくりや健康長寿の延伸に向けた健康づくり、25周年を迎えるジャパンカップ・サイクルードレースの記念事業や全国に誇れる教育環境の充実などに取り組み、5年後の市民の幸せと100年後の都市の繁栄に向けて、市政運営に全力を尽くしてまいります。



上三川町長
星野 光利

明けましておめでとうございます。

平成28年の輝かしい新春を健やかに迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

また、宇都宮建設業協会の皆様には、日頃より本町の発展と町政運営にあたりまして、様々な面で格別のご支援、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

本町にとりまして今年は、これからの本町の発展に向けての更なる1歩を踏み出す、「第7次総合計画」のスタートの年となります。

本年の主な事業として、安心・安全の充実では、「田川内水被害軽減対策事業」として豪雨災害を軽減するための事業を実施してまいります。教育環境の充実に関しては、「上三川小学校体育館整備」を行います。また、子育て家庭の支援では、「予防接種の公費助成」を拡大し、おたふくかぜ、ロタウイルスの予防接種も新たに対象としてまいります。

本年も、「住みたい町」、「住んでよかった町」、「住み続けたい町」の実現を図るよう職員一同全力で取り組んでまいりますので、皆様におかれましては、引き続き、格別なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、平成28年が皆様にとりまして、希望に満ち溢れた年となりますことを心からご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

REPORT

委員会 活動報告

総務委員会 我ら協会のイメージアップを目指して！

今年度、総務委員会では広報誌「けんせつ宇都宮」の編集・発行、宇建協創立70周年記念行事への協力、高校生インターンシップの会員各社への受入れ調整、会員相互の親睦会の企画・立案等を中心に活動してまいりました。

「けんせつ宇都宮」は年3回（1月・6月・11月）発行し、当協会の各種活動報告や集中豪雨時の緊急対応、新社長紹介、年間行事予定等を掲載し、会員や行政各機関に向けて発信しました。また、平成27年で当協会が創立70周年の節目を迎えるにあたり、記念誌の編集及び記念式典の開催に尽力しました。

高校生インターンシップでは、宇都宮工業高校や宇都宮白楊高校など計5校より57名の参加者があり、10月から11月にかけて33社の協会員が受入れをしました。

親睦会では旅行やスポーツ等を企画し、会員相互の親睦を図りました。

今後も地域に貢献する宇建協の活動を中心に皆様に発信してまいります。

（手塚）

建設委員会 地域の安心安全は私たちが守る！

今年度の建設委員会の活動報告といたしましては、宇都宮市総合防災訓練への参加、河川清掃活動等を行いました。

【3月】愛りバーとちぎ河川清掃活動 【5月】愛りバーとちぎ河川清掃活動

【6月】鳥インフルエンザ及び口蹄疫対策現地連絡会議への参加

【7月】川の日「田川クリーンアップ大作戦」 【8月】宇都宮市総合防災訓練への参加

【9月】愛りバーとちぎ河川清掃活動 【11月】土木の日「クリーンアップキャンペーン」

【その他】平成27年9月関東・東北豪雨に伴う災害対策本部待機業務

【今後の予定】CCI活動として、12月に開催される3・3・1号鹿沼宇都宮線下栗工区開通式においてお客様をお迎えするブースを設営する予定です。

当委員会では、『地域の人々の暮らしの安心・安全を守っている』という崇高な使命感と誇りをもって、地震、台風等災害発生時に緊急対応ができるよう取り組みを行っております

（菊池）

安全委員会 安全意識の向上を図る！

安全委員会の活動としましては、毎月1回の安全パトロールの実施、建災防栃木県支部並びに宇都宮分会主催の行事の設営等の協力、暴力団対策と交通安全に関する講習会の開催等があります。

（4、5、6、9、12、3月）非公開委員会パトロール 宇都宮労基署同行

（7、2月）公開パトロール

宇都宮労基署・発注側担当者・建災防安全指導者・会員の店社安全管理責任者同行

（7月）安全管理者講習会開催

（7月）建災防栃木県支部安全大会の設営協力

（8、11、1月）非公開パトロール 宇都宮労基署・建災防安全指導者同行

（10月）合同公開パトロール

宇都宮労基署・発注側担当者・安蘇分会安全担当者・建災防安全指導者・

分会所属の他団体の安全担当者・会員の店社安全管理責任者同行

（10月）建災防宇都宮分会安全対策セミナー・宇都宮労基署関係安全衛生「塾」の設営協力

（12月）暴力団対策及び交通安全に関する講習会の開催

今後も労働災害の撲滅を目指して、会員各社の安全対策の推進を図ってまいります。

（片嶋）

REPORT

| インターンシップ |

未来の建設技術者育成のために！

一般社団法人宇都宮建設業協会は栃木県教育委員会が実施している高校生のインターンシップ事業に協力した。インターンシップ事業は高校生が実際の産業現場における就業体験を通して、実質的な知識・技術・技能に触れ、生徒の学習意欲を喚起するとともに、主体的な職業選択能力や高い職業意識を育成することを目的としている。

本年度は、栃木県内5校8学科

宇都宮工業高校環境土木科 (16名)

宇都宮工業高校建築デザイン科 (16名)

宇都宮白楊高校農業工学科 (11名)

真岡工業高校建設科 (2名)

小山北桜高校造園土木科 (1名)

小山北桜高校建築システム科 (2名)

今市工業高校建設工学科 (土木5名・建築4名)

から計57名の高校生を本会会員企業33社で受け入れ、未来の建設技術者育成のために、指導・教育を実施した。

研修期間は各校各学科ともに月曜日から金曜日までの5日間となっており、参加した生徒は熱心にかつ積極的にさまざまな課題に取り組んでいた。また、インターンシップ参加後の事後アンケートで「学んだことは何ですか？」の設問に対して、

①学校と社会の違い

②働くことの大切さ

③仕事に関する勉強の必要性

などを感じた生徒が多数であり、また人間関係の重要性を挙げる生徒もいて、本事業が十分に当初の目的を達成することができたと考えられた。

(増測)



レベルを使用しての墨出しの補助



地中梁天端のレベルの確認を実施



トランシットによる測量実習



コンクリート型枠組立ての体験



トランシットによる建物通り芯の確認



支部間クロス安全パトロール (合同安全パトロール [安蘇支部]) に参加

2015.11.10 火

(一社)宇都宮建設業協会と建設業労働災害防止協会栃木県支部宇都宮分会では、毎月安全パトロールを実施していますが、その内1回は他支部の方にご参加いただく合同パトロールとなっています。宇都宮支部で実施した7月のパトロールでは安蘇支部の皆様にご参加いただき、貴重なご意見を伺いました。そして、今回は安蘇支部主催のパトロールに私たちが参加させていただく順番になりました。この活動は、建設業労働災害防止協会栃木県支部のご指導のもとに実施している支部間クロスパトロールで、「井の中の蛙にならず、他支部から学ぼう」という趣旨で継続されている取組です。

11月10日はあいにくの雨模様でしたが、宇都宮建設業協会から、轟安全委員長と桜井副委員長が安蘇支部のパトロールに同行しました。

栃木労働基準監督署安全衛生課長の斉藤様をはじめ、

安足土木事務所、県南環境森林事務所、下都賀農業振興事務所、佐野市、建災防栃木県支部、安蘇支部の皆様とともに、「消防本部庁舎建築工事」「よねやま保育園駐車場整備工事」を拝見させていただきました。皆様の講評からは、私たちが気付かなかったことも拝聴でき、学ぶ点が多々ありました。

今後もクロスパトロール(合同安全パトロール)を通じて、安全衛生に関する新鮮な情報をインプットし、当支部の安全衛生活動に活かしていきたいと思えます。

(荒井)



第5回 愛リバーとちぎ 河川清掃活動

土木の日・クリーンアップキャンペーン

2015.11.18 水

(一社)宇都宮建設業協会は11月18日、「土木の日・クリーンアップキャンペーン」並びに「愛リバーとちぎ第5回河川清掃活動」を、県宇都宮土木事務所とともに実施。

増淵会長は「我々建設業は、災害時にはいち早く出動し、道路障害物を除去して河川に土嚢を積むなど、地域の安全を守るとともに、高校生の就業体験学習インターンシップ事業の促進をはじめ、城址まつりや宇都宮マラソン、本日のような清掃活動など、地域貢献度の高い活動を行っている。今後も会員企業が丸となって、社会貢献活動を実施することにより、地域の

建設業界の存在価値や役割を多くの地域の皆さんに理解していただけるよう、継続して活動を続けていきたい」とあいさつ。

続いて、景山晃弘県宇都宮土木事務所次長兼企画調査部長が「今年も残すところ1か月となり、忙しい中での皆さんの協力に感謝している。本日の清掃活動により、河川や道路などの社会資本の維持管理を行う建設業に対する、県民の理解が深まることを期待している」と述べた。その後、会員企業及び宇都宮土木事務所から総勢約80人が、宇都宮市中心部の大通りや1級河川田川沿いの清掃・草刈りを行い、地域に根差した建設業の重要性をPRした。

(関)



暴力団対策及び交通安全に関する講習会

2015.12.17 木



12月17日、栃木県建設産業会館にて「暴力団対策及び交通安全に関する講習会」が開催されました。

当日は約50名の出席のもと、公益財団法人栃木県暴力追放県民センターと宇都宮中央警察署から講師をお招きし、講話をいただきました。

講習に先立ち、増淵会長から「反社会的勢力の現状をよく知り、関係機関と連携して対応していくことが重要。また、年末年始の交通事故が多発する時期に事故対策を十分に講じてほしい。」との挨拶をいただきました。

続いて暴追センターの橋本専務理事より講話があり、「反社会的勢力に対する対応」として、9月の豪雨災害の復興事業が本格化していくことを挙げ、復興事業への暴力団介入の注意と、もしも暴力団と少しでも関わりそうな時は早めにセンターに相談してほしいと呼びかけられました。

その後、宇都宮中央警察署の神田警備課長から外国人対策について、大淵交通総務課長から交通事故防止についてそれぞれお話があり、出席者は皆熱心に耳を傾けていました。

(熊本)

REPORT

青年の会 活動報告

宇都宮マラソン大会 2015.11.15 日

第29回宇都宮マラソン大会が11月15日(日)、清原中央公園周辺コースを会場に、前日から降り続いた雨もスタート前にはほぼ上がり、盛大に開催されました。

今年も宇都宮建設業青年の会では、恒例行事となっているメイン通りのコース設営作業を行いました。大会当日は早朝から会員27名が協力し、ランナーたちの安全と円滑な競技運営に貢献することができました。宇都宮建設業青年の会は、20年余にわたりコース設営に参画し、スポーツを通じた地域貢献に大きく寄与してまいりました。

青年の会は今後とも地域貢献に対し積極的に参加協力をしてまいります。

(佐々木)



ランナーの安全確保のための設営

一般社団法人 宇都宮建設業協会

董

副会長 菊池

三紀男

竹内 智祐

野澤 充広

(株)ア (株)イ (株)岩 岩 宇 馬 王 (株)梶 片 上 (株)神 (株)菊	曉 ズ イ ナ 原 村 都 上 子 力 並 島 河 神 菊	マ ケ ミ 入 宮 上 工 ク 建 内 神 菊	工 原 ダ ミ 産 建 土 建 営 タ 建 設 内 吉 一	務 業 務 業 江 業 設 工 設 閔 川 技 設 工 業 設 工 戸 建 地	店 (株)店 (株)組 (株)株 (株)株 (株)株 (株)組 (株)組 (株)株 (株)業 (株)組 (株)組
--	---	--	---	--	---

イ 商 建 業 設 設 業 工 設 業 設 設 工 田 建 業
セ 本 志 興 建 建 建 工 生 建 工 建 建 建 和 重 工
ウ 賀 興 建 建 建 工 生 建 工 建 建 建 和 重 工
ヨ 熊 興 古 平 正 野 田 田 新 豐 陽 長 常 幹 泰 田 安
キ 株 株 有 小 三 鹿 柴 柴 株 晋 上 末 成 大 株 株 有 大

設設(株)木業(株)店(株)組(株)設業(株)設(株)株組
 建建業土產業務建業建實設設建設業建
 晃葉建田力工工土工野澤建原建產土野
 大千技野ツ建井長豐庭野中賀福井井橋星
 央津テ舗直村

ン組設組(株)業業設(株)組(株)(株)木(株)
ケ一 測 建 あ 業 設 興 工 建設設 口 設 設 設 業 土 設 設
ソ 測 工 建 雪 重 建 建 建 建 工 造 建 建
江 増 丸 キ 睦 元 田 幡 山 本 西 山 弥 林
堀 鰯 山 ユ 美 山 元 田 幡 山 本 西 山 弥 若 晃 辺
(株)(株)(株)丸ミ(株)(株)矢八(株)山陽横米(有)和渡

協会員の思いやりに感謝状

当協会員(株)丸あ組工事部長の岩本裕充さんが栃木県警の「思いやり110番」に協力したとして、去る平成27年10月26日に鹿沼署から感謝状を授与された。

岩本さんは夜間工事を終えた深夜の帰宅途中に、鹿沼市茂呂地内の県道にいた2歳児2名を見つけて警察に通報し、交通事故などを未然に防いだ。

岩本さんは「車で走っていたら動くものがあつた。幼児とわかつた時は驚いた。まだ言葉が話せず、警察官が来るまで2人を抱えているのが精いっぱいだった。何事もなかったのが何より」と話していた。



伝統の「忘年かすのこゴルフコンペ」開催



（一社）宇都宮建設業協会伝統の「忘年かずのこゴルフコンペ」が去る平成27年12月25日(金)に宇都宮カンツリークラブにおいて27名の参加にて開催された。競技は18ホールストロークプレーでペリア方式にて行われた。

伝統の「忘年かずのこゴルフコンペ」は昭和54年12月に第1回が開催され、途中未開催の年度はあるものの昨年度より再開し、本年度で第21回目の開催となった。

当日は天候にも恵まれ、参加者は日頃の運動不足の解消とともに会員間の親睦を深めて、年末の多忙中ではあったが、とても楽しい一日を過ごしていた。結果は(株)テツカ産業代表取締役手塚誠さんが見事優勝に輝いた。

(岩原)

訃報

株式会社睦工業 元会長 系井 鉦吉 氏

糸井鉦吉様(享年92歳)におかれましては、平成27年10月27日にご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。皆様、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、師走の恒例となっているその年の世相を漢字一文字で表す「今年の漢字」が京都の清水寺にて発表され、2015年は「安」と決まりました。理由としては、今年は安全保障関連法案が採決され国民の関心が集まったことや、世界で頻発するテロや異常気象で安全が脅かされ、人々を不安にさせたこと、また「安心して下さい、穿いてますよ。」のフレーズが流行したことなどが理由に挙げられています。

「安」という漢字は、「家の屋根・家屋の象形」と「両手をしなやかに重ね、ひざまずく女性の象形」を表し、家の中で女性が「やすらぐ」・「やすらか」を意味する「安」という漢字が成り立っているそうです。

昨年は先に挙げた理由のほかに9月の豪雨災害もあり、不安に感じることが多かった1年でしたが、本年は「安」の漢字の成り立ちのように、安心・安全とやすらぎを感じられるような1年になるよう努力していきます。

(魯和田)

けんせつ
宇都宮

- 1981年7月創刊
■ 2016年1月10日発行
■ 発行：一般社団法人宇都宮建設業協会
■ 会長：増淵 董

- 編 集：総務委員長 荒井 学
■ T E L：028-636-5221
■ U R L：<http://www.ukenkyo.org/>
■ E-mail：ukenkyo@ukenkyo.org

- 印刷所：藤崎印刷株式会社
■TEL：028-633-4530
■E-mail：info@fuijisaki-p.jp

